

## 1 使用言語

英語または日本語とする。原稿は母語話者による確認を済ませ、完全な文章にして投稿すること。

## 2 記載順序

以下の順序にて記載すること。なお、和文にて執筆する場合は、①～④については英文でも併記すること。

- ① 論文名
- ② 執筆者名
- ③ 要旨
- ④ キーワード 5語以内
- ⑤ 本文
- ⑥ 注
- ⑦ 引用・参考文献
- ⑧ 参考資料

## 3 書式

以下の書式にて記載すること。

- 1) ページ余白：上下左右 30 mm
- 2) 1ページ：(和文) 40 字×36 行 (英文) 36 行 行数のみ指定、文字数は指定なし。
- 3) 論文名：(和文) MS ゴシック 12pt (英文) Arial 12pt
- 4) 執筆者名：(和文) MS 明朝 10.5pt (英文) Times New Roman 10.5pt
- 5) 本文：(和文) MS 明朝 10.5pt (英文) Times New Roman 10.5pt
- 6) 見出し：(和文) MS ゴシック 11pt (英文) Arial 11pt
- 7) 注及び参考文献：(和文) MS 明朝 10pt (英文) Times New Roman 10pt

## 4 図表

- 1) 図表それぞれに通し番号を付し、必ず表題をつける。
- 2) 図表タイトルのフォントは、和文は MS ゴシックで 10.5pt、英文は Arial で 10.5pt とする。
- 3) 図表タイトルは、図の場合、図の下部に、表の場合、表の上部に記載する。
- 4) 図表は必要に応じて、文中に挿入する。

## 5 注

1) Author-date 方式 (In-text citations) とする。

## 6 参考文献

- 1) 文献の配列は和書（著者名の 50 音順）と洋書（著者名のアルファベット順）に分けて記載すること。
- 2) 文献の記載順は、書籍の場合、著者姓・著者名、刊行年、書籍名、出版社とし、論文の場合、著者姓・著者名、刊行年、論文名、書誌名、巻号、ページ、出版社または発行機関とする。
- 3) 和書の論文名は「」で、書誌名は『』で表示する。欧文論文名は“ ”で、欧文書誌名は斜体で表示する。

例 1) 龍谷花子(2015) 『京都の歴史』 平安出版

Ryukoku Hanako(2015) History of Kyoto. Heian Publishing

例 2) 深草太郎(2016) 「伏見の自然」 『〇〇大学紀要』 22 号、pp.1-10

Fukakusa Taro(2016) “Nature of Fushimi area” *Bulletin of 〇〇 University*, 22, pp.1-10

- 4) ウェブページを参考文献として掲載する際は、URL を〈 〉で、参照した日付を（ ）で囲んで記載する。

例) 平安大学「国際交流戦略」

<<http://www.XXXX.jp/international/abroad/strategy/>>

(2016 年 6 月 1 日参照)

## 7 字数制限

### ・本文について

和文の場合は、20,000 字以内、英文の場合は 10,000 ワード以内とする。

和文、英文ともに規定の文字数を大幅に超過するものは不採用とする。文字数には、参考文献も含める。図表は文字数には含めない。

### ・要旨について

論文については、「日本語の題名、日本語の要約 (500 文字以内)」、英文の場合は「英文の題名、英文の要旨 (250 ワード以内)」を本文とは別にまとめること。なお、本文・要旨ともに原稿は原則として A 4 サイズの用紙に横書きで、Microsoft Word 印字であること。

## 8 投稿方法

査読用 (タイトル・要旨・本文のみ ※執筆者の特定ができないもの) と提出用の合計 2 部を電子データファイルで指定された Email アドレスまで提出すること。

## 9 各節の表記方法

和文、英文とも、論文内では「節 (Section)」に分けること。たとえば、各節の表記方法は、以下のとおりとする。

例1 (日本語)

1.
  - (1)
- ①
- (2)
- (3)

例2 (英語)

1.
  - 1.1
    - 1.1.1
    - 1.1.2
  - 1.2
- 2.

## 10 文献引用と参考文献の表記方法

直接引用する場合に、3行以下の文章を引用する場合には、和文の場合は本文中に「」で、英文の場合は“”で括る。3行を超えるものはブロック引用にする。

## 11 利益相反

投稿者は、利益相反による弊害が生じないように細心の注意を払い、利益相反の有無にかかわらずその旨を明記すること。また編集委員会より開示を求められた場合は速やかに対応すること。

## 12 研究倫理

研究の遂行及び成果の発表において、捏造、改ざん、盗用等研究者としての倫理に反する行為に細心の注意を払うこと。また、人あるいは動物を対象とする研究、遺伝子組み換え生物を使用する研究等については、著者の所属機関が定めるガイドラインに従って研究が行われたこと、及び必要な審査を経たことを明記すること。

以 上